
開講科目名：情報法研究（2単位）
開設年次：1年 2年 3年 4年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：萩原 聡央

《授業の概要》

【授業の目標】

この授業では、「情報の自由」と「情報の保護」の意味や内容について理解を深めるとともに、情報の自由と保護に関する法制度について理解することを目標とする。

【授業の概要】

この授業では、授業時に配布するレジュメ・資料に基づいて、「わが国のIT政策」、「表現の自由の歴史・理論」、「情報公開」、「個人情報保護」、「著作権」、「報道・取材の自由」、「名誉・プライバシー」、「差別的表現」、「性表現の自由」、「情報社会における青少年保護」、「広告の自由と規制」、「インターネットの自由と情報セキュリティ」、「メディアの集中・系列化とアクセス権・反論権」、「情報倫理と自主規制」などの各テーマについて考察する。この授業における学びを通して、情報に関する基本的な知識を身につけることができるとともに、情報法制の役割や意義について理解することができる。

【評価方法】

授業における報告（60％）および討論への参加状況（40％）の結果により評価する。

【授業計画】

- 第1回 ガイダンス・ユビキタスネット社会の課題と情報法
- 第2回 表現の自由の意義・歴史と理論
- 第3回 情報公開と知る権利
- 第4回 個人情報の保護と自己情報コントロール権
- 第5回 教育における説明責任と情報公開・個人情報保護
- 第6回 情報の自由と著作権
- 第7回 報道・取材の自由と情報源秘匿
- 第8回 名誉毀損・プライバシー侵害
- 第9回 差別的表現の規制
- 第10回 性表現の自由と規制
- 第11回 情報社会における青少年保護
- 第12回 広告の自由と規制
- 第13回 インターネットの自由と情報セキュリティ
- 第14回 メディアの集中・系列化とアクセス権・反論権
- 第15回 情報法における法と倫理（自主規制）・まとめ

定期試験は実施しない（上記評価方法により評価する）。

《テキスト》

なし（授業において適宜資料を配布します）。

《参考書》

松井修視編『レクチャー情報法』（法律文化社、2012年）
宇賀克也・長谷部恭男編『情報法』（有斐閣、2012年）
祖我部真裕・林秀弥・栗田昌裕『情報法概説』（弘文堂、2016年）
その他、適宜指示します。